



臨床栄養学各論Ⅱ 第10講

～腎疾患②～

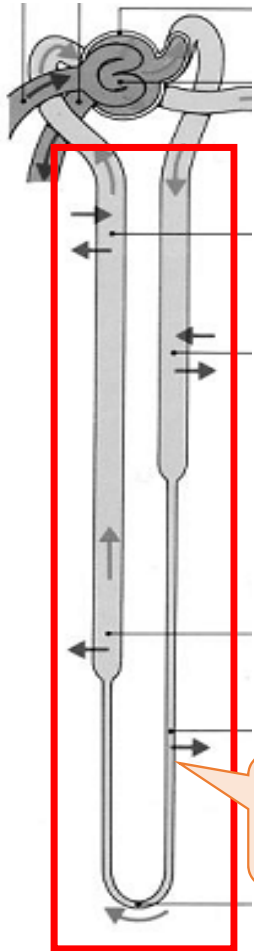
本講座は管理栄養士課程の必須科目ですので、
頑張って学修しましょう。

注意！

この講座の複製および二次配信を禁止します。
厳守してください。

腎疾患②

1. ネフローゼ症候群▶Txp116



糸球体障害（原因は特定しない）

➡ _____

➡ 大量の _____

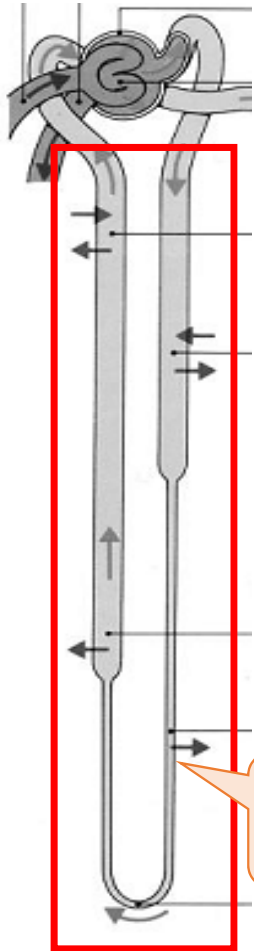
➡ _____

を特徴とする症候群

Proは _____
できない！

腎疾患②

1. ネフローゼ症候群▶Txp116



たんぱく透過性亢進

…本来こし出さない_____を、こしだす
たんぱく質は分子量が_____ため、
尿細管で_____できない
⇒尿に_____が出てしまう

低たんぱく血症

…尿に_____が出てしまい、
血中のたんぱく質が_____する

Proは
できない!

腎疾患②

1. ネフローゼ症候群▶Txp116

	分類	病変	自覚症状
一次性		；基底膜上皮細胞の足突起融合	浮腫 乏尿
		基底膜上皮細胞に が沈着し肥厚	乏しい
		一部の糸球体（巣状）が部分的（分節性）に	浮腫 乏尿
	膜性増殖性糸球体腎炎	の により領域が拡大し、 も肥厚	全身倦怠 浮腫
二次性	糖尿病腎症， を生じる	感染などの他の疾患によって糸球体病変	

腎疾患②

1. ネフローゼ症候群▶Txp116

	分類	浮腫	たんぱく尿	血尿	再燃率	予後
一次性	微小変化型 ネフローゼ			まれ	高い	
	膜性腎症	軽度	中等度	軽度 ~中等度	低い	進展の可 能性あり
	巣状糸球体 硬化症			ときに 高度	時々	
	膜性増殖性 糸球体腎炎	中等 度	中等度		低い	
二次性	糖尿病腎症, 生じる	感染などの他の疾患によって糸球体病変を				

腎疾患②

1. ネフローゼ症候群▶Txp117

表1 成人ネフローゼ症候群の診断基準

1	_____ : _____ 以上が持続する (随時尿において尿蛋白/尿クレアチニン比が 3.5g/gCr以上の場合もこれに準ずる)
2	_____ : 血清アルブミン値 _____ 以下
3	: _____
4	_____

必須条件

⇐低アルブミン血症由来の
_____の低下が原因

⇐低アルブミン血症由来の
_____が原因

- 注：1) 上記の尿蛋白量、低アルブミン血症 (低蛋白血症) の両所見を認めることが本症候群の診断の必須条件である
2) 浮腫は本症候群の必須条件ではないが、重要な所見である
3) 脂質異常症は本症候群の必須条件ではない
4) 卵円形脂肪体は本症候群の診断の参考となる

腎疾患②

2. 低アルブミン血症

低アルブミン血症 = 血中アルブミン濃度の低下

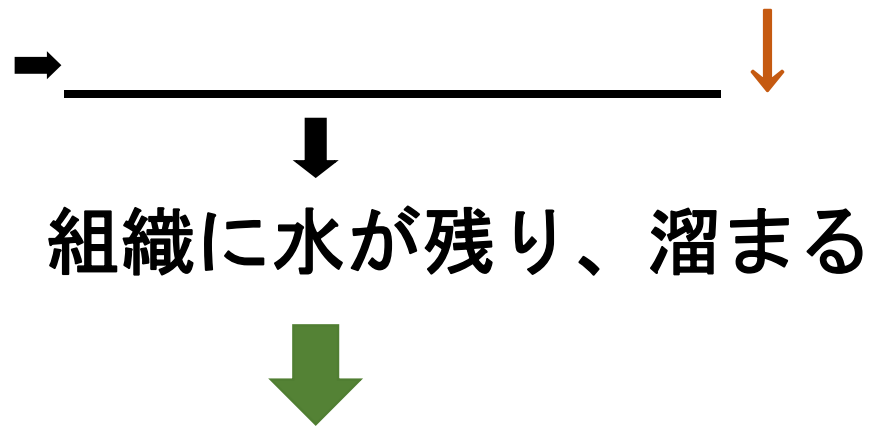


血漿たんぱく質による血管内に水を保持しようとする、あるいは組織中の水分を引き込もうとする圧力

腎疾患②

2. 低アルブミン血症

低アルブミン血症 = 血中アルブミン濃度の低下



血漿たんぱく質による血管内に水を保持しようとする、あるいは組織中の水分を引き込もうとする圧力

腎疾患②

2. 低アルブミン血症

低アルブミン血症

=肝での

→副産物として _____ も合成・放出



腎疾患②

3. 投与栄養量

	エネルギー kcal/kg・IBW/日	たんぱく質 g/kg・IBW/日	食塩 g/日	カリウム	水分
微小変化型 ネフローゼ症候群				血清カリウム値により増減	制限せず*
微小変化型 ネフローゼ以外の ネフローゼ症候群					

* : 高度の難治性浮腫の場合は制限を要する

腎疾患②

4. 食事療法のポイント

_____制限・・・_____の軽減，腎保護（血圧管理含め）
Na⁺も_____に関与！
Naがあるところには必ず水がある！

_____制限をする場合は必ず_____

腎疾患②

4. 食事療法のポイント

- 米と大豆の摂取により、脂質異常症を軽減
米+大豆⇒アミノ酸スコア
植物性ステロールはステロイドホルモンや生体膜の材料になりやすい⇒血中コレステロール値を上げない
- 脂質制限食は高LDLコレステロール血症の改善に有効

腎疾患②

5. 腎不全 ▶ Txp118

腎臓の生体調節機能である _____ の排泄, _____ 平衡, _____ の産生や _____ の活性化などが破綻した状態 (腎臓がほとんど機能していない状態)

- _____ (Cr) _____ mg/dL 以上に上昇
(基) ♂ ≤ 1.2 mg/dL、♀ ≤ 1.0 mg/dL
すでに腎機能低下している場合は 1.0 ~ 1.3 mg/dL 以上の上昇
- _____ が _____ mg/dL/日 以上の上昇
- _____ が _____ mg/dL/日 以上の速度で上昇

腎疾患②

6. 急性腎不全と慢性腎不全の違い

急性腎不全（_____；回復が期待できる）

_____ ……腎臓よりも__に原因がある

_____によって糸球体濾過量が低下し、機能低下

ex) _____, _____, 大量出血などの細胞外液量の低下や
うっ血性心不全などの循環血液量の低下

_____ …… _____そのものに原因がある

ex) 腎動脈血栓（腎血管性），
急速進行性糸球体腎炎（糸球体性），急性尿細管壊死など

腎疾患②

6. 急性腎不全と慢性腎不全の違い

急性腎不全（_____；回復が期待できる）

_____ ……腎臓よりも__に原因がある

ex) 尿路結石，尿管腫瘍など

慢性腎不全（_____；進行を抑制できるが、回復は期待できない）
_____, _____, _____などが原因

生活習慣病も原因！

腎疾患②

7. 腎不全の症状

①尿毒素の排泄障害による症状

血清 **■** 値や **■** 値の上昇 → **■**

脳；意識障害

眼；視力障害・眼底出血

口腔；尿臭・味覚異常

心臓；心肥大・心不全・動悸

肺；肺水腫・胸水・息苦しさ

消化管；食欲不振・嘔気・嘔吐・潰瘍

皮膚；皮下出血・色素沈着・かゆみ

神経；感覚異常・イライラ感

味を感じにくい上に、減塩が必要なので
食事に満足できない！

腎疾患②

7. 腎不全の症状

② _____・_____・_____の異常による症状
_____, _____, _____, _____ (不整脈),

③ ホルモン、酵素、ビタミンの異常による症状
_____産生低下； _____
_____過剰分泌； **高血圧**
_____および _____；
_____, 骨軟化症, _____

血症により 過剰分泌